

日本共産党品川区議会議員

**菊地貞二**

週刊区政ニュース第337号

07年08月05日発行

8月6・9日を迎え東海寺で原爆被災者慰霊祭

# 原爆投下「しょうがない」発言に怒り

参議院選挙の大きな争点となった平和の問題。憲法9条を改悪し、若者たちをアメリカの先兵として、再び戦場へ送り込む政治は許さないとの声が高まる中、北品川東海寺で慰霊祭がおこなわれました。

**東友会・藤平副会長と久間前防衛相発言に**

**「激しい怒りを覚える」**

**自民党東京選挙区当選者・丸川珠代氏**

**核武装について「検討を始めるべきだ」**



北品川東海寺の慰霊碑  
広島・長崎の被爆石が埋めこまれ、折鶴を模した形状となっています



久間章生前防衛相の原爆投下は「しょうがない」とする発言は国民の憤激をかい、参院選で安倍政権に審判としてくだされました。東友会の藤平副会長は「慰霊のことば」の

中で「激しい怒りを感じる」と強調。亡くなった方の意思を継ぎ、「再び被爆者をつくるな」の願いを、残された力を出しきり、次代の若者たちに引き継ぎたいと語りました。

原爆症認定のあり方に問題あり

こうした中、30日に だされた原爆症認定集

団訴訟の熊本地裁判決は、大阪、広島、名古屋、仙台、東京の各地裁判決に続き、厚生労働省の原爆症認定の審査のあり方に問題があると六度目の司法判断をくだしました。

断罪された柳沢伯夫厚労相と厚生省は六度目の判決を重く受けとめ、控訴しないことはもちろん、これまでの五回の判決での控訴を

取り下げ、ただちに原爆症認定行政を抜本的にあらためるべきです。

六回の判決で共通して断罪されたのは、厚労省が認定にあたって残留放射線の人体に及ぼす影響を無視していることです。厚労省は認定に当たり、原爆が爆発した瞬間から一分以内の初期放射線による外部被爆しか問題にしてきませんでした。このため初期放射線量が低いとされる遠距離での被爆者や、原爆



投下後に被爆地に入った入市被爆者の認定が最初から切り捨てられてきました。

安倍政権は、いまこそ国民の声に耳を傾け、「原子爆弾の惨禍が繰り返されることのないよう」に認定制度の抜本的改善に乗り出すべきです。

### 非核三原則無視の新議員

「毎日」が参議院全候補者アンケートとしておこなった中で「日本の核武装について、あ

なたの考えに最も近いものを一つ選んでください」との設問があり、選択肢は、

#### 公約実現に全力

参議院選挙で全国から4,407,947票をいただきました。

議席に結びつかなかったものの、前回をこえる得票は日本共産党がくらしと平和を守る唯一の政党であるとの期待の現われです。

掲げました公約を実現させ、「国民が主人公」の政治をみなさんとご一緒に築いてまいります。

①将来にわたって検討すべきではない

促す発言を繰り返し、大きな批判を浴びました。丸川新議員の主張

②今後の国際情勢によっては検討すべきだ

はこれと同趣旨のものです。

③検討を始めるべきだ

この麻生・中川発言は国是とされてきた『非核三原則』を変え

④核兵器を保有すべきだ」となっていました。

この麻生・中川発言は国是とされてきた『非核三原則』を変え

このうち③と回答したのは、自民党の丸川珠代新議員ほか4名。民主党の2名で計7名です。

『非核三原則』を変え、日本は唯一の被爆国として、核兵器廃絶を地球規模で実現することこそイニシアチブを発揮すべきものです。

## 無料法律相談会（生活相談は随時）

ところ すずらん通り事務所

日時 9月6日（木）

午後6時～8時



前日まで15742-6818または電話をください。